

「C型肝炎対策等に関する専門家会議」について

平成 17 年 3 月

厚生労働省厚生科学課

- 我が国のC型肝炎の持続感染者は、100万人～200万人存在すると推定され、その中から肝硬変や肝がんへの移行が問題。
- こうした中、平成12年11月に「肝炎対策に関する有識者会議」（座長：杉村隆）を設置、計5回にわたる検討の結果、平成13年3月に報告書を取りまとめ、これを踏まえ、厚生労働省として平成14年度から「C型肝炎等緊急総合対策」を実施。
- その後、
 - ① 対策を取りまとめて3年近くが経過し、この間にC型肝炎の治療に関する新たな知見の集積や新しい治療薬の承認等の動きがあること
 - ② 昨年12月にフィブリノゲン製剤納入医療機関のリストが公表され、C型肝炎に関する社会的関心が高まっていることなどの状況にある。
- このため、厚生労働大臣からの指示を受け、新たに専門家による会議を設置し、特に検査や治療面を中心に検討し、その結果を踏まえ、既存の総合対策の見直しを実施予定。

【主な検討項目】

- C型肝炎ウイルス検査等の検査体制の充実
- 効果的な治療法の普及
- 新しい医薬品等の研究開発の一層の推進 など

【全体的な検討スケジュール】 【別紙1】

- 3月3日（木）に第1回会合を開催
- 関係者からのヒアリングや委員からのプレゼンテーション等に基づき、ディスカッションを実施。
- 本年夏頃までに、検討結果を取りまとめる予定。
 - ※ 検討結果を踏まえ、厚生労働省として新たなC型肝炎等に関する総合的な対策を実施（平成18年度概算要求に反映）

C型肝炎対策等に関する専門家会議の検討スケジュール（案）

- 平成17年3月3日（木） 第1回会合
C型肝炎をめぐる状況等に関する資料を説明した上で、委員による
フリーディスカッション

- 3月下旬～4月上旬頃 関係者からのヒアリング [1回開催]

- 4月～5月頃 各委員からのプレゼンテーションを行った上で、ディ
スカッション [2回程度開催]

- 6月～7月頃 報告書の取りまとめに向けた検討 [2回程度開催]

- 7月下旬を目途に報告書取りまとめ